

令和 7 年版

消 防 年 報

第 5 5 号



羽咋郡市広域圏事務組合消防本部

(令和 8 年刊行)

和衷協同

組合長

岸博一



総説

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部は、気持ちを一つに強く優しい組織を目指し、職員一丸となって職務に当たることを基本理念としております。

令和7年4月揮毫「和衷協同」

羽咋郡市広域圏事務組合 組合長 岸 博 一

は し が き

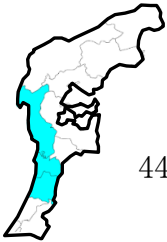
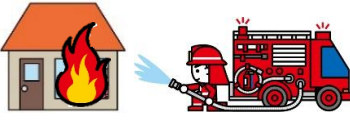
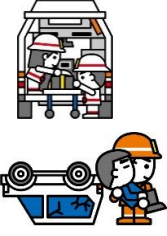
この消防年報は、羽咋郡市広域圏事務組合（羽咋市・宝達志水町・志賀町）の消防現勢及び令和7年中（一部年度）における消防業務に関する諸般の実態の資料を収録し、災害に強い、安全・安心な市町の実現を目標とし、今後の消防行政に資するため編集したものです。

なお、調整基準日は各図表等に記入してあります。

令和8年9月

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部

～ 消防本部の概要及び消防活動等の概況 ～

組合概要 R8. 4. 1 現在	構成市町  羽 咋 市 宝 達 志 水 町 志 賀 町	面積  440.35 km ²	人口・世帯数  人口 47,740 人 世帯数 21,072 世帯
消防概要 R8. 4. 1 現在	組合予算 令和8年度当初予算(消防費)  10億8,366万円	署所  消防本部 1 消防署 3 消防分署 1	職員数  定員 122 名 実員 113 名
消防車両 R8. 4. 1 現在	ポンプ車等  ポンプ車 6台 化学車 3台	特殊車両  梯子車 2台 救助工作車 1台 指揮車 4台 広報車等 4台 ボートトレーラー 1台 資機材搬送車 1台	救急車  高規格救急車 5台
災害統計 R7年	119番通報  119 4,361 件	火災  18 件	救急・救助  救急 2,711 件 救助 30 件
予防関係 R8. 3. 31 現在	防火対象物数 2,411 棟 特 定 686 棟 非 特 定 1,725 棟	危険物施設数 322 施設 貯 蔵 所 210 施設 取 扱 所 112 施設	立入検査数  防火対象物 398 件 危険物施設 125 件

目 次

総 括

1	羽咋郡市の位置及び地勢	1
2	羽咋郡市広域圏事務組合構成図	2
3	構成市町の面積、人口、世帯数	2
4	消防のあゆみ	3
5	歴代消防長	13
6	組合消防組織図	14
7	組合消防機関の名称、位置、庁舎の現況	15
8	消防機関の配置図	16

庶 務 関 係

1	事務分掌	17
2	消防職員	21
	(1) 定数と現員	21
	(2) 所属別配置状況	21
	(3) 階級別平均年齢	21
	(4) 勤続年数	21
	(5) 採用・退職状況	22
	(6) 公務災害発生状況	22
	(7) 研修・教養	22
3	消防財政	23
	(1) 広域圏一般会計予算	23
	(2) 組合消防費性質別歳出内訳	23
	(3) 組合消防費財源内訳	23
	(4) 市町別一般会計決算と消防費決算の比較	24
	(5) 組合消防費と職員・人口・世帯数との比較	24
4	消防相互応援協定	24

警防・水利・資機材関係

1	消防車両等の配置状況	25
2	常備消防力の基準と現有消防力	26
3	消防機関の出動状況	27
4	消防水利の状況	27

5	特殊器具の状況	28
6	原子力防災資機材保有状況（石川県貸与分）	30

通 信 関 係

1	消防通信	31
	(1) 通信指令業務について	31
	(2) 通信指令業務の共同運用に係る経過	31
	(3) 消防デジタル無線配置一覧表	32
2	119番受信状況（羽咋郡市管内）	32
3	覚知別受信状況（羽咋郡市管内）	32
4	口頭指導状況	33

予 防 関 係

1	防火対象物数	34
2	中高層建築物数	35
3	防火対象物査察状況	36
4	用途別建築同意数	37
5	消防用設備等の検査状況	38
6	火災予防条例等による諸届出状況	39
7	防火対象物定期点検報告制度に該当する 対象物の状況等	39
8	表示基準適合マークの交付状況	39
9	防火管理者資格取得講習実施状況	39
10	危険物製造所等設置状況	40
11	指定数量別危険物施設状況	40
12	危険物施設立入検査状況	40
13	危険物施設の申請・届出状況	41
14	意見書等交付状況	41

火 災 関 係

1	過去5年間の火災概況	42
2	市町別火災発生状況	43
3	月別火災発生状況	44

4	曜日別火災発生状況	----	44
5	時間別火災発生状況	----	45
6	気象別火災発生状況	----	46
7	原因別火災発生状況	----	47
8	覚知別火災発生状況	----	47
9	建物用途別火災発生状況	----	47
10	過去10年間の火災推移	----	48

救急救助関係

1	救急活動及び救助活動の概況	----	49
2	救急出動状況における前年との比較	—	50
3	過去10年間の救急出動件数の推移	—	50
4	出動市町別救急出動状況	----	51
5	出動市町別年齢区分別搬送人員状況	—	51
6	事故種別傷病程度別搬送人員状況	—	52
7	曜日別・月別救急出動件数状況	----	53
8	時間別救急出動件数状況	----	54
9	覚知別救急出動件数状況	----	55
10	事故種別不搬送理由別不搬送件数状況		55
11	現場到着所要時間別救急出動件数状況		56
12	収容所要時間別搬送人員状況	----	56
13	医療機関別搬送人員	----	57
14	救急隊員の行った応急処置状況	----	58
15	救急・救助隊員等の配置状況	----	59
16	救命・救急講習の実施状況	----	59
17	救助出動状況	-----	60
18	時間別月別救助出動件数状況	----	61
19	過去5年間の救助出動件数状況	----	62

消防団、協力団体

1	消防団	-----	63
	(1) 市町消防団の組織	-----	63
	(2) 消防団車両状況	-----	64

	(3) 市町別階級別消防団員数	-----	64
	(4) 市町別在籍年数別消防団員数	----	65
	(5) 市町別年齢別消防団員数	-----	65
	(6) 市町別消防団員報酬・手当等	----	65
	(7) 消防団員1人あたりの人口、世帯数、面積		66
2	羽咋郡市消防団連合会	-----	66
	(1) 羽咋郡市消防団連合会の発足	----	66
	(2) 羽咋郡市消防団連合会の組織	----	66
	(3) 羽咋郡市消防団連合会連合訓練大会 実施状況	----- 67, 68, 69, 70	
3	女性防火クラブの現況	-----	71
4	幼年消防クラブの現況	-----	71
5	羽咋郡市防火協会組織図	-----	71
6	羽咋郡市住宅防火対策推進協議会組織図		72

〔 総 括 〕

1	羽咋郡市の位置及び地勢	1
2	羽咋郡市広域圏事務組合構成図	2
3	構成市町の面積、人口、世帯数	2
4	消防のあゆみ	3
5	歴代消防長	13
6	組合消防組織図	14
7	組合消防機関の名称、位置、庁舎の現況	15
8	消防機関の配置図	16

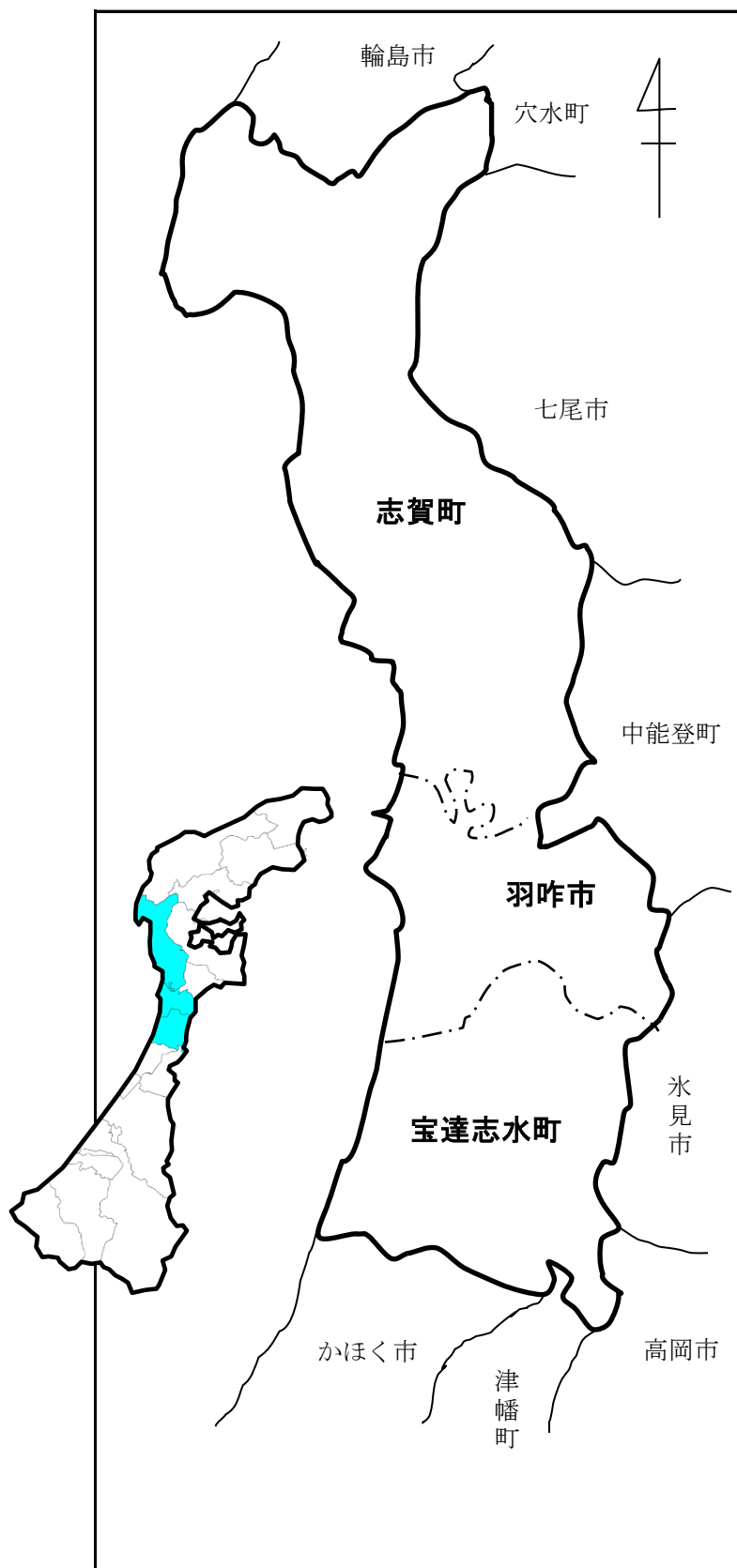
1 羽咋郡市の位置及び地勢

羽咋郡市は能登半島の入口にあつて、羽咋市、宝達志水町、志賀町の1市2町で構成され、管内面積440.35k㎡を擁している。東は眉丈山系を境とし、富山県及び中能登町に接し、南はかほく市、津幡町、北は七尾市、輪島市、穴水町に隣接し、西は日本海に望み東西8km、南北52kmの長方形をなしており、能登と加賀、羽咋と富山県氷見を結ぶ3線の2級国道とのと里山海道及びJR七尾線により金沢へ約40分、東京、大阪へは新幹線等を利用して3時間10分の位置にある。

南東側は海拔300mから600mの山岳丘陵地帯に囲まれ、北西側は日本海に面している。

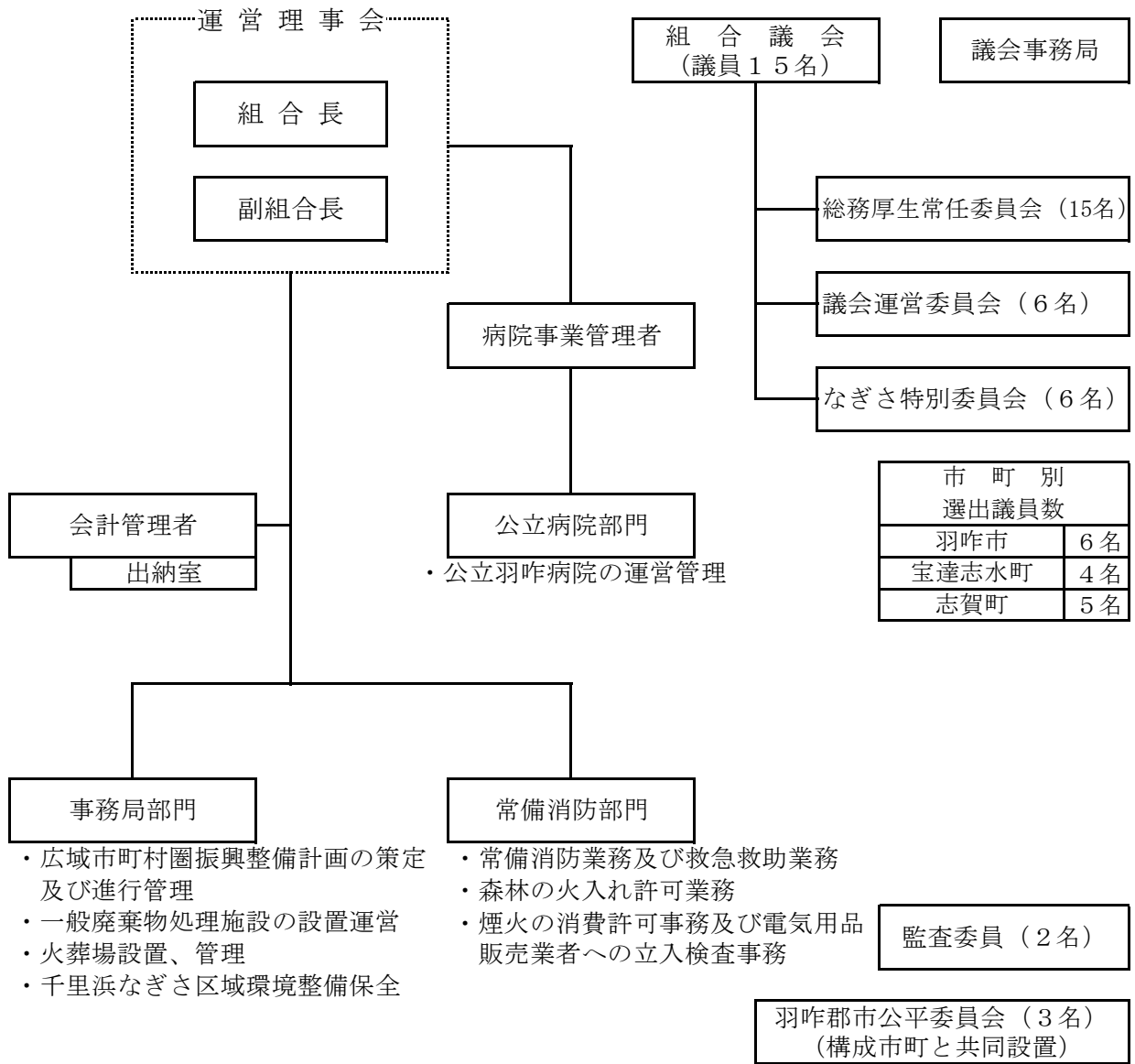
これらの山岳丘陵より流れる河川流域に沿って農・林業が発達している。

また、宝達志水町沖より富来湾に至る北西側一帯の日本海は県有数の漁業地帯である。



2 羽咋郡市広域圏事務組合構成図

令和8年4月1日現在



3 構成市町の面積、人口、世帯数

羽咋郡市広域圏事務組合	構成市町名	面積 (k m ²)	令和7年国勢調査		令和8年4月1日現在		位置	
			人口	世帯数	人口	世帯数	北緯	東経
	羽咋市	81.84	18,854	8,001	19,237	8,563	36° 53′	136° 46′
	宝達志水町	111.51	11,073	4,313	11,501	4,859	36° 51′	136° 47′
	志賀町	247.00	15,914	6,809	17,002	7,650	37° 01′	136° 45′
	計	440.35	45,841	19,123	47,740	21,072	—	—

4 消防のあゆみ

昭和45年	10月1日	羽咋市、押水町、志雄町、志賀町、高浜町及び富来町の1市5町が圏域の振興整備計画を共同して策定し、基本計画の実施に関する連絡調整を図る目的で、羽咋郡市広域市町村圏協議会を発足した。
昭和46年	10月1日	協議会が、羽咋郡市広域圏事務組合となる。
昭和47年	4月1日	羽咋郡市広域圏事務組合が消防事務を共同処理することと定め、消防本部、羽咋消防署、南分署、志賀分署及び富来分署を設け、消防職員47名で発足した。
		初代消防長に本吉二六（羽咋市助役）就任
		羽咋市消防団、押水町消防団、志雄町消防団、志賀町消防団及び富来町消防団の5消防団が連合体を組織し、羽咋郡市消防団連合会が結成された。
	7月1日	第2代消防長に折戸寛雄就任
	8月1日	南分署、志賀分署及び富来分署の庁舎が完成し、それぞれに消防ポンプ自動車
		が配置され、事実上の分署開設となる。
	10月25日	能登海浜有料道路の開通に伴い、石川県より救急自動車(2B型)の寄贈を受け、羽咋消防署に配置した。
昭和48年	4月1日	職員23名採用（総員70名）
	4月17日	職員1名出向（総員69名）
	4月18日	職員1名採用（総員70名）
	7月25日	南分署で救急業務を開始した。
	8月17日	日本消防協会より救急自動車（2B型）の寄贈を受け、富来分署に配置した。
	8月24日	富来分署で救急業務を開始した。
昭和49年	3月18日	職員1名退職（総員69名）
	3月31日	職員2名退職（総員67名）
	4月1日	職員3名採用（総員70名）
		第3代消防長に今江時男就任
		全国消防長会に加入した。
	4月14日	羽咋ライオンズクラブより救急自動車（2B型）の寄贈を受け、羽咋消防署に配置した。
	4月30日	職員1名退職（総員69名）
	7月5日	志賀分署で救急業務を開始した。
	8月1日	職員1名採用（総員70名）
		消防本部、羽咋消防署合同庁舎へ移転、業務を開始した。
	8月5日	消防本部、羽咋消防署合同庁舎竣工式
	10月3日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け、羽咋消防署に配置した。
昭和50年	1月31日	職員1名退職（総員69名）
	3月6日	職員1名退職（総員68名）
	4月1日	職員3名採用（総員71名）
	4月8日	日本損害保険協会より救急自動車（2B型）の寄贈を受け、志賀分署に配置した。
昭和51年	4月1日	羽咋郡市広域圏事務組合に新たに環境衛生施設組合、厚生医療組合及び千里浜なぎさ公園組合が統合した。
	7月2日	日本消防協会より広報車の寄贈を受け、消防本部に配置した。
	11月13日	南分署救急自動車、損傷により廃車
	12月13日	職員採用試験を実施した。
	12月27日	救急自動車簡易型（2B型）を購入し、南分署に配置した。
昭和52年	1月12日	南分署救急自動車、損傷により廃車
	2月1日	職員2名採用（総員73名）
	4月1日	全国消防協会に加入した。
	5月2日	救急自動車（2B型）を購入し、南分署に配置した。
	6月7日	羽咋郡市防火協会を設立した。
	7月26日	羽咋市において石川県防災総合訓練を実施した。
	9月21日	はしご付消防ポンプ自動車（18m級）を購入し、羽咋消防署に配置した。
	12月6日	職員採用試験を実施した。
昭和53年	2月3日	日本防火協会より鼓笛の寄贈を受け、富来町立増穂小学校、3月13日、志賀町立高浜小学校、3月22日、押水町立押水第一小学校において伝達式を実施した。
	3月17日	日本防火協会より羽咋郡市少年婦人防火クラブに防火宣伝広報車の寄贈を受け、消防本部に配置した。
	4月1日	職員5名採用（総員78名）
	8月2日	羽咋消防署普通消防ポンプ自動車を更新した。

昭和53年	10月1日	昭和47年4月1日広域圏消防発足以来、職員は各市町の派遣職員の身分であったが、機能合理化を主眼として組合職員に身分を切替した。
昭和54年	3月25日	初期救急医療体制の一環として、日曜、祝祭日、在宅医通報制を実施した。
	3月31日	職員1名退職（総員77名）
	4月1日	職員1名採用（総員78名）
	4月19日	消防職員の身分切替に伴う「消防職員互助会」設立発足
	8月24日	自治体消防30周年を記念して、「羽咋郡市消防のあゆみ」を編さんすべく、委員会を組織した。
	11月11日	職員採用第1次試験（教養、作文）を実施した。
	11月26日	職員採用第2次試験（適正、体力、口述）を実施した。
昭和55年	3月7日	自治体消防30周年を記念して、「羽咋郡市消防のあゆみ」を発刊した。
	3月31日	職員1名退職（総員77名）
	4月1日	職員1名採用（総員78名）
		第4代消防長に山本久二夫就任
	11月16日	職員採用第1次試験（教養、作文）を実施した。
	12月11日	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、富来分署に配置した。
	12月14日	職員採用第2次試験（適正、体力、口述）を実施した。
昭和56年	3月31日	職員2名退職
	4月1日	職員2名採用（総員78名）
		第5代消防長に揚見良平就任
	9月30日	職員1名退職（総員77名）
	12月22日	日本損害保険協会より救急自動車（2B型）の寄贈を受け、富来分署救急車を更新した。
	12月26日	羽咋消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
昭和57年	1月1日	職員1名採用（総員78名）
	4月1日	職員8名採用（総員86名）
	5月18日	職員1名退職（総員85名）
	7月7日	職員1名退職（総員84名）
	8月1日	職員2名採用（総員86名）
	8月13日	南分署、志賀分署、富来分署の事務室改修、拡張工事
	8月19日	第11回全国消防救助技術大会（横浜市）に南分署ほふく救出チーム出場
	10月14日	防火管理者講習会を本年度より実施した。
	11月19日	南分署普通消防ポンプ自動車を更新した。
	12月13日	消防ポンプ自動車を購入し、志賀分署に配置した。
昭和58年	3月2日	日本損害保険協会より救急自動車（2B型）が消防庁より配分され、羽咋消防署救急車を更新した。
	3月11日	富来分署普通消防ポンプ自動車を更新した。
	6月3日	警防査察車を2台購入し、消防本部及び南分署に配置した。
	8月19日	第12回全国消防救助技術大会（大阪市）に南分署ほふく救出チーム出場
	10月25日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、志賀分署に配置した。
	10月31日	志賀分署及び富来分署の車庫、倉庫の増築工事
昭和59年	2月16日	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、志賀分署救急車を更新した。
	3月31日	職員1名退職
	4月1日	職員1名採用（総員86名）
	6月11日	警防査察車を購入し、志賀分署に配置した。
	8月24日	第13回全国消防救助技術大会（名古屋市）に南分署ほふく救出チーム出場
	10月23日	志賀分署訓練場敷地舗装工事完了（640㎡）
	11月5日	南分署訓練場敷地舗装工事完了（540㎡）
昭和60年	3月31日	職員1名退職
	4月1日	職員1名採用（総員86名）
		第6代消防長に宮本健治就任
	5月15日	警防査察車を購入し、富来分署に配置した。
	11月22日	日本自動車工業会より救急自動車（2B型）の寄贈を受け、南分署に配置した。
	11月30日	羽咋消防署はしご車オーバーホール実施
昭和61年	2月20日	富来分署無線基地局、車載移動局4局、携帯局5局を更新した。
	5月12日	志賀分署救急自動車、損傷により廃車
	7月1日	防災通信ファクシミリを消防本部に配置した。
		緊急電話自動録音装置を志賀分署、富来分署に取付
	7月1日	南分署及び志賀分署事務室、受付室冷房設備取付

昭和61年	8月1日	日本消防協会より羽咋市に寄贈された小型動力ポンプ積載車を羽咋消防署管理として配置した。
昭和62年	9月5日	救急自動車（2B型）を購入し、志賀分署に配置した。
	2月20日	羽咋消防署車載無線機2局、富来分署車載無線機1局を更新した。
	3月31日	職員1名退職（総員85名）
	4月1日	職員1名採用（総員86名）
	4月14日～16日	第7代消防長に山田欣一就任 第1回消防職員昇任資格試験（消防司令、消防司令補、消防士長、消防副士長）を実施した。
昭和63年	4月27日	防災通信ファクシミリを志賀分署、富来分署に配置した。
	8月3日	消防本部、羽咋消防署庁舎の冷房設備取付
	8月6日	富来分署事務室及び受付室の冷房設備取付
	9月14日	羽咋消防署普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。
	10月5日	防災通信ファクシミリを南分署に設置、全署所に完備した。
	1月9日	志賀分署車載無線機2局を更新した。
	2月25日～26日	第2回消防職員昇任資格試験（消防司令補、消防士長、消防副士長）を実施した。
	4月1日	原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会に加入した。
	6月14日	自治体消防40周年記念石川県大会の開催
	6月22日	消防本部通信室冷房設備更新
平成元年	7月1日	志賀分署仮眠室冷房設備更新
	8月19日	第17回全国消防救助技術大会（横浜市）に羽咋消防署引揚救助チーム、南分署ほふく救出チーム出場
	10月3日	職員1名退職（総員85名）
	1月8日	元号を平成に改元
	1月16日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	2月1日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	2月22日～23日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月28日	富来分署救急自動車（2B型）を更新した。
	3月31日	職員1名退職（総員84名）
	4月1日	職員3名採用（総員87名）
平成2年		第8代消防長に山本孝三就任
	8月19日	第18回全国消防救助技術大会（名古屋市）に羽咋消防署引揚救助チーム出場
	9月30日	職員1名退職（総員86名）
	10月1日	職員1名採用（総員87名）
	11月15日	南分署通信室防音設備工事完了
	2月22日	消防昇任資格試験を実施した。
	3月20日	消防本部庁舎高圧受電設備、自家発電設備工事完了
	3月30日	消防本部庁舎通信指令室改装工事完了
	4月1日	職員4名採用（総員91名）
	8月29日	日本消防協会より指令広報車の寄贈を受け、消防本部に配置した。
平成3年	9月18日	日本防火協会より婦人防火号の寄贈を受け、消防本部に配置した。
	10月26日	はしご付消防ポンプ自動車（15m級）及び車載無線機を購入し、志賀分署に配置した。
	2月21日～22日	消防昇任資格試験を実施した。
	3月20日	消防業務用多重無線中継システム工事及び消防緊急情報総合システムⅡ型設置工事を完了し、試験運用を開始した。
	3月31日	職員1名退職、1名理事会部局へ出向（総員89名）
平成4年	4月1日	職員3名採用（総員92名）
		第9代消防長に福浦俊雄就任
		消防緊急情報総合システム本運用を開始した。
	8月28日	第20回全国消防救助技術大会（大阪市）に羽咋消防署引揚救助チーム出場
	2月21日～22日	消防昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員1名理事会部局へ出向（総員91名）
	4月1日	職員1名採用（総員92名）
	7月28日	羽咋消防署仮眠室冷房設備更新
	8月28日	第21回全国消防救助技術大会（千葉市）に羽咋消防署引揚救助チーム出場
	8月31日	消防本部庁舎便所改修工事完了
平成5年	11月16日	南分署普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。
	2月18日	消防昇任資格試験を実施した。

平成5年	3月8日	志賀分署通信受付室移設工事完了
	4月1日	職員4名採用（総員96名）
	6月3日	第14回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を当消防本部で開催した。
	10月1日	職員1名採用（総員97名）
平成6年	1月27日	羽咋消防署救急自動車（2B型）を更新した。
	2月16日	消防昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員1名理事会部局へ出向（総員96名）
	9月5日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、富来分署に配置し、水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
	10月3日	救急救命士養成課程(救急救命東京研修所)に職員1名を派遣した。
平成7年	1月18日	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)に富来化学車で職員9名を応援派遣した。
	2月15日	救助工作車（Ⅱ型）を購入し、羽咋消防署に配置した。
	2月16日	消防昇任資格試験を実施した。
	5月31日	南分署警防査察車を更新した。
	7月14日	羽咋消防署はしご車ワイヤー等取替修理
	11月15日	志賀分署普通消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新した。
平成8年	2月15日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月25日	消防本部庁舎講堂、階段床貼替工事完了
	3月29日	南分署庁舎改修工事完了
	5月30日	志賀分署警防査察車を更新した。
	8月2日	職員1名退職（総員95名）
	8月25日	第25回全国消防救助技術大会（札幌市）ロープブリッジ渡過種目に職員1名出場
	9月22日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月1日	消防職員委員会を設置した。
	10月18日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	11月1日	石川県消防防災ヘリコプター隊員に職員1名を派遣した。
	11月26日	富来分署普通消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新した。
	12月13日	志賀分署救急自動車更新、高規格救急自動車を配置した。
平成9年	1月1日	志賀分署で高規格救急自動車による救急業務を開始した。
	2月18日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員1名退職（総員94名）
	4月1日	消防職員定数97名となる。 職員3名採用（総員97名）
		石川県消防防災ヘリコプター応援協定を締結した。
	6月7日	富来分署新庁舎落成式
	6月9日	富来分署新庁舎へ移転、業務を開始した。（富来町里本江乙の189番地）
	7月18日	富来分署警防査察車を更新した。
	8月22日	第26回全国消防救助技術大会（千葉市）ロープブリッジ渡過種目に職員1名出場
	8月28日	志賀分署はしご車オーバーホール実施
	10月8日	職員1名退職（総員96名）
	10月22日	羽咋市で石川県防災総合訓練を実施した。
	11月26日	羽咋消防署救急自動車更新、高規格救急自動車を配置した。
	12月1日	職員1名採用（総員97名）
		羽咋消防署で高規格救急自動車による救急業務を開始した。
	12月11日	羽咋消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新し、化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を配置した。
平成10年	2月18日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員1名退職（総員96名）
	4月1日	第10代消防長に澤田一平就任 平成10年度、11年度原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会の会長に当消防本部消防長が就任、それに伴い当消防本部が連絡会事務局となる。
	5月17日	自治体消防制度50周年記念石川県大会の開催
	10月19日	石川県消防長会秋季総会を羽咋市で開催した。
	12月20日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
平成11年	1月20日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	2月23日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	2月25日	南分署救急自動車を更新し、高規格救急自動車を配置した。
	3月10日	南分署で高規格救急自動車による救急業務を開始した。
	3月12日	志賀分署水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新した。
平成11年	4月1日	職員1名採用（総員97名）

平成11年	4月1日	消防費負担割合を人口割負担に改正（従前定率）
	9月19日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月2日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	11月29日	羽咋消防署18m級はしご付消防ポンプ自動車を更新し、30m級はしご付消防自動車を配置した。
平成12年	2月24日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月8日	羽咋市消防団が日本消防協会から寄贈を受けた指揮広報車を消防本部に配置した。
	3月31日	職員2名退職
	4月1日	職員2名採用（総員97名） 第11代消防長に三宅郷一就任
	6月20日	富来分署救急自動車を更新し、高規格救急自動車を配置した。
	7月1日	富来分署で高規格救急自動車による救急業務を開始した。
	7月21日	羽咋消防署普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。
	9月17日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月20日	石川県より原子力防災活動資機材として被ばく患者・避難者搬送車の貸与を受け、消防本部に配置した。
	10月30日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
平成13年	1月31日	志賀分署庁舎改修工事完了
	2月22日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員1名退職、1名理事会部局へ出向（総員95名）
	4月1日	職員2名採用（総員97名） 石川県消防学校教官に職員1名を派遣（平成14年度末まで）
平成14年	7月31日	職員1名退職（総員96名）
	1月20日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	2月18日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	3月5日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月28日	消防業務用多重無線周波数変更（2GHz帯から7.5GHz帯）工事完了
	4月1日	消防職員定数100名となる。 職員3名採用（総員99名）
	7月7日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	7月22日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	8月1日	職員1名採用（総員100名）
	9月22日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
平成15年	11月22日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	3月6日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員4名退職（総員96名）
	4月1日	職員4名採用（総員100名） 第12代消防長に紺野繁男就任
	8月28日	第32回全国消防救助技術大会（仙台市）ロープブリッジ渡過種目に職員1名出場
	9月21日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
平成16年	10月25日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	11月28日	消防本部・羽咋消防署合同庁舎改修工事完了
	3月5日	消防職員昇任資格試験を実施した。 石川県より原子力防災活動資機材として広報車の貸与を受け、消防本部に配置した。
	3月31日	職員3名退職（総員97名）
	4月1日	職員3名採用（総員100名）
	9月19日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
平成17年	10月25日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	3月1日	押水町と志雄町の廃置分合により、宝達志水町が誕生
	3月5日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月31日	職員2名退職（総員98名）
	4月1日	消防職員定数110名となる。 組合執行機関が理事会制から組合長制に移行 消防本部組織が1課制（消防課）から3課制（庶務課、予防課、警防課）に移行
		職員2名採用（総員100名）
		羽咋市、宝達志水町から事務吏員2名出向、庶務課に配属（総員102名）
	6月27日	水難救助隊発足（隊員10名）
	8月31日	事務吏員1名宝達志水町に帰任（総員101名）

平成17年	9月1日	志賀町と富来町の廃置分合により、志賀町が誕生 志賀町から事務吏員2名出向、庶務課と予防課に配属（総員103名）
	9月18日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月19日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	10月24日	水難救助用ボート購入し羽咋消防署に配置した。
	11月29日	南分署普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。
平成18年	3月8日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月16日	携帯電話からの119番通報が直接受信可能となる。
	3月31日	職員4名退職、1名組合長部局に出向（総員98名）
	4月1日	消防署組織が1署3分署から3署1分署に移行、羽咋消防署南分署が宝達志水消防署に、羽咋消防署志賀分署が志賀消防署に、羽咋消防署富来分署が志賀消防署富来分署となる。
		職員7名採用（総員105名） 第13代消防長に岩城儀猛就任 石川県消防防災ヘリコプター隊員に職員1名を派遣（平成20年度末まで）
平成19年	9月17日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月19日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	2月21日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	2月28日	宝達志水消防署庁舎増改築、耐震補強工事完了 化学消防ポンプ自動車（II型）を購入し、宝達志水消防署に配置した。
	3月9日	志賀消防署高規格救急車を更新した。
平成20年	3月31日	職員3名退職、羽咋市からの出向職員1名、志賀町からの出向職員2名帰任（総員99名）
	4月1日	職員4名採用、組合長部局から1名出向（総員104名） 羽咋市、志賀町、宝達志水町から事務職員それぞれ1名出向、庶務課及び予防課に配属（総員107名） 第14代消防長に高田昌信就任
	4月30日	職員1名退職（総員106名）
	9月16日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月16日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
平成21年	2月6日	消防職員昇任資格試験を実施した。（消防副士長、消防司令）
	3月5日	羽咋消防署高規格救急車を更新した。
		消防本部・羽咋消防署合同庁舎耐震補強関連工事完了
	3月31日	職員6名退職、羽咋市、志賀町、宝達志水町からの出向職員それぞれ1名帰任（総員97名）
	4月1日	職員2名採用、組合長部局及び羽咋市から事務職員1名出向、庶務課に配属（総員101名） 第15代消防長に田頭善彦就任
平成22年	9月21日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月28日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	2月23日	消防職員昇任資格試験を実施した。（消防副士長、消防士長、消防司令）
	3月31日	職員3名退職、組合長部局及び羽咋市からの出向職員それぞれ1名帰任（総員96名） 消防緊急指令システム設置工事完了 消防本部組織が3課制（庶務課、予防課、警防課）から2課制（予防課、警防課）に移行
	4月1日	職員3名採用（総員99名） 石川県消防学校教官に職員1名を派遣（平成22年度末まで） 消防緊急指令システムの運用を開始した。
平成22年	9月7日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月9日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	2月22日	消防職員昇任昇格試験を実施した。（消防副士長、消防士長、消防司令補）
	3月31日	職員1名退職（総員98名）
	4月1日	職員4名採用、組合長部局から1名出向（総員103名） 志賀消防署新庁舎へ移転、業務を開始した。（志賀町西山台一丁目1番地） 志賀消防署開所式を実施した。
	5月13日	
	9月19日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	9月30日	職員1名退職（総員102名）
	10月19日	職員1名退職（総員101名）
	10月21日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。

平成23年	1月31日	職員1名退職（総員100名）
	2月24日	志賀消防署普通消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新した。
	3月3日	宝達志水消防署高規格救急車を更新した。
	3月4日	消防職員昇任昇格試験を実施した。
	3月11日	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生、3月12日から3月26日まで岩手県九戸郡野田村に緊急消防援助隊石川県隊として消火部隊（宝達志水化学車）1隊、5次隊延べ23人の隊員を派遣した。
	3月31日	職員4名退職（総員96名）
	4月1日	職員7名採用（総員103名）
	9月18日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月8日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	12月31日	職員1名退職（総員102名）
平成24年	2月2日	消防職員昇任昇格試験（消防司令補、消防士長）を実施した。
	2月28日	志賀消防署はしご車オーバーホール実施
	3月15日	消防職員昇任資格試験（消防副士長）を実施した。
	3月28日	石川県より原子力防災活動資機材として被ばく患者・避難者搬送車の貸与を受け、消防本部に配置した。
	3月31日	職員1名退職（総員101名）
	4月1日	職員7名採用（総員108名）
	8月7日	第41回全国消防救助技術大会（東京都）ほふく救出種目に富来分署職員3名出場
	9月16日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月12日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
平成25年	1月22日	消防職員昇任昇格試験を実施した。
	3月15日	羽咋消防署救助工作車（Ⅱ型）を更新した。
	3月31日	消防救急無線デジタル化整備に伴い草木基地局を取得
		職員7名退職（総員101名）
	4月1日	職員7名採用（総員108名）
		第16代消防長に山田政一就任
	4月30日	職員1名退職（総員107名）
	8月22日	第42回全国消防救助技術大会（広島市）ほふく救出種目に富来分署職員3名出場
	9月22日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月11日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
平成26年	1月22日	消防職員昇任試験を実施した。
	2月20日	志賀消防署富来分署高規格救急車を更新した。
	2月28日	職員2名退職（総員105名）
	3月4日	総務省消防庁より機動連絡車の貸与を受け、消防本部に配置した。
	3月31日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
		職員7名退職（総員98名）
	4月1日	職員8名採用（総員106名）
		第17代消防長に安田 稔就任
		石川県消防防災ヘリコプター隊員に職員1名を派遣（平成28年度末まで）
	9月21日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
平成27年	11月4日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	12月31日	職員1名退職（総員105名）
	1月20日	消防職員昇任試験を実施した。
	3月20日	志賀消防署富来分署化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新した。
	3月31日	職員5名退職（総員100名）
	4月1日	職員7名採用（総員107名）
	7月31日	職員1名退職（総員106名）
	9月20日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月9日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
平成28年	1月21日	消防職員昇任試験を実施した。
	3月7日	志賀消防署富来分署普通消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新した。
	3月16日	羽咋消防署はしご車オーバーホール実施
	3月31日	職員2名退職（総員104名）
	4月1日	安田 稔消防長再任用、職員4名採用（総員109名）
	9月18日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月10日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	12月15日	宝達志水消防署指揮自動車を更新した。
平成29年	1月18日	消防職員昇任試験を実施した。

平成29年	1月24日	志賀消防署高規格救急車を更新した。
	3月31日	職員1名退職、安田 稔消防長再任用任期終了（総員107名）
	4月1日	職員3名採用（総員110名） 第18代消防長に牧野秀雄就任
平成30年		石川県消防学校教官に職員1名を派遣（平成30年度末まで）
	10月8日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月7日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	2月8日	羽咋消防署高規格救急車を更新した。
	2月23日	消防職員昇任試験を実施した。
	3月19日	志賀消防署屈折はしご付き消防自動車を更新した。
	3月22日	羽咋消防署化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新した。
	3月31日	職員2名退職（総員108名）
	4月1日	職員1名再任用、職員1名採用（総員110名）
	5月13日	自治体消防制度70周年記念石川県大会開催
	7月19日	羽咋消防本部水難救助用ボートを更新した。
	9月16日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月31日	職員1名退職（総員109名）
	11月5日	職員1名退職（総員108名）
	11月20日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
平成31年	12月13日	宝達志水消防署非常電源設備設置
	12月31日	職員2名退職（総員106名）
	1月22日	消防職員昇任試験を実施した。
	2月3日	第2回職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	2月20日	第2回職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	3月28日	羽咋消防署普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。
	3月28日	消防緊急指令システム中間整備（指令制御装置の更新）実施
	3月31日	職員2名退職（総員104名）
	4月1日	職員1名再任用、職員5名採用（総員110名）
令和元年	5月1日	元号を令和に改元
	5月31日	職員1名退職（総員109名）
	7月1日	職員1名採用（総員110名）
	9月17日	志賀消防署富来分署非常電源設備設置
	9月22日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	11月5日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	12月末	世界中で新型コロナウイルス感染症拡大
令和2年	1月24日	消防職員昇任試験を実施した。
	2月28日	志賀消防署水槽付ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新した。
	3月31日	職員9名退職、牧野秀雄消防長再任用任期終了（総員100名）
	4月1日	消防職員定数116名となる。 職員9名採用、職員3名再任用（総員112名） 第19代消防長に松生正友就任
		石川県消防防災グループ副隊長に職員1名を派遣（令和4年度末まで）
	10月18日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	6月29日	羽咋ドローンズと災害時における無人航空機を活用した支援活動に関する協定を締結する。
	11月9日	（一財）救急振興財団より寄贈された救急普及啓発広報車を消防本部に配置した。
	11月20日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	12月17日	宝達志水消防署高規格救急車を更新した。
令和3年	12月31日	職員2名退職（総員110名）
	1月22日	消防職員昇任試験を実施した。
	3月1日	NET119の運用を開始した。
	3月31日	消防緊急指令システム中間整備（情報系制御装置、ネットワーク系機器、無停電電源装置更新）実施
	3月31日	職員1名退職、再任用職員3名任期終了（総員106名）
	4月1日	職員1名再任用、職員9名採用（総員116名）
		消防本部に消防総務課を新設し、庶務係、企画調整係を設置 警防課通信指令室を廃止し、警防課情報指令係を設置 警防課に救急管理係、警防救助係及び特殊災害対策係を設置、消防署及び分署に特殊災害対策担当を設置

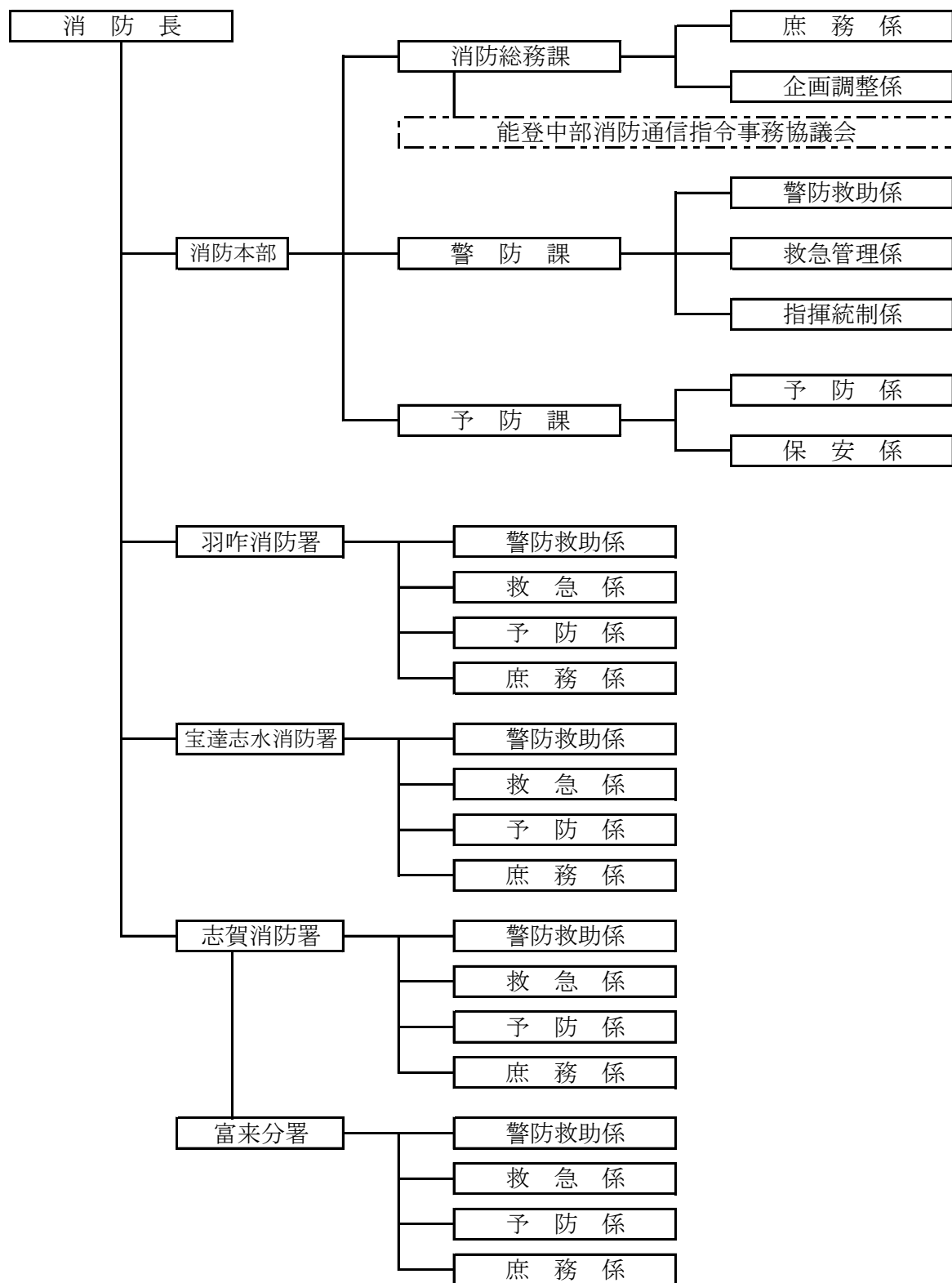
令和3年	4月1日	消防署及び分署における警防係、予防係、救急係及び救助係を廃止し、警備係を設置、交替制勤務を2部制から3部制へ変更
	6月18日	羽咋消防本部3階ホールエアコン取替工事完了
	6月19日	第50回羽咋郡市消防団連合会連合訓練記念大会記念誌発行
	7月21日	羽咋消防本部庁舎監視カメラ設置工事完了
	8月16日	消防本部警防課に無人航空機1機を配備し、運用を開始する。
	8月29日	職員1名退職（総員115名）
	12月19日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	12月23日	羽咋消防本部庁舎2階、3階西面建具・外壁改修工事完了
令和4年	1月24日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	2月2日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	3月28日	七尾市と当事務組合が、消防通信指令に関する事務を共同で実施するための基本的事項について合意書に調印した。
	3月30日	北陸電力株式会社と志賀原子力発電所における消防活動に関する協定を締結する。
	3月31日	職員2名退職、再任用職員1名任期終了（総員112名）
	4月1日	職員1名再任用、職員3名採用（総員116名） 組合消防発足50周年を迎え、「地域とともに未来へつなぐ」をキャッチフレーズに50周年事業を展開（ロゴマーク、ワッペン、周年誌、ポスター等の作成）
	5月19日	組合消防発足50周年記念 組合長特別点検（新型コロナウイルスにより中止） 50周年誌「羽咋郡市広域圏事務組合消防本部50年のあゆみ」発行
	6月24日	消防本部庁舎空調設備更新工事完了 （消防本部事務所、消防長室、羽咋消防署事務所）
	7月7日	第43回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会開催
	7月31日	職員1名退職（総員115名）
	9月12日	富来分署庁舎車庫照明器具（LED）交換完了
	9月12日	消防庁舎監視カメラ設置工事完了（宝達志水消防署、志賀消防署、富来分署）
	9月18日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	9月30日	職員1名割愛退職（総員114名） 原子力規制委員会原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課火災対策室 出向（令和6年9月30日まで）
	11月7日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	11月14日	（一財）羽咋郡市建設業協会と消防訓練場所の確保の協力に関する協定を締結する。
	11月30日	邑知潟土地改良区と監視カメラの利用に関する覚書を締結する。
	12月1日	職員1名退職（総員113名）
令和5年	2月9日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月29日	邑知潟漁業協同組合との災害時における協力に関する協定を締結する。
	3月31日	職員3名退職、再任用職員1名任期終了（総員109名）
	4月1日	職員1名再任用、職員6名採用（総員116名）、初となる女性消防吏員採用。 石川県消防学校教官に職員1名を派遣（令和6年度末まで）
	6月23日	羽咋消防署訓練施設整備工事完了。
	7月31日	宝達志水消防署空調設備更新工事完了。 職員1名退職（総員115名）
	9月17日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月31日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。 職員1名退職（総員114名）
	12月13日	宝達志水消防署災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新した。
	12月15日	志賀消防署庁舎の屋上防水工事、車庫（土間改修含む）、女性消防吏員仮眠室の改修工事完了。
令和6年	1月1日	令和6年能登半島地震発生 震災対策要綱に基づき職員を招集させ、大規模災害に対応した。
	2月1日	羽咋消防署災害対応特殊はしご付消防自動車を更新した。
	2月15日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	2月27日	救急予備車を町立富来病院へ譲渡した。
	3月22日	志賀消防署庁舎外構改修工事完了（外構の地盤改良、アスファルト舗装）
	3月31日	職員4名退職（総員110名）
	4月1日	職員1名再任用、職員3名採用（総員114名） 第20代消防長に松本 裕就任

	7月3日	緊急防災減災事業を活用し無人航空機1機を配備し、運用を開始する。
	7月23日	組合長特別点検を実施した。
	9月21日	令和6年奥能登豪雨災害発生。石川県消防広域応援に基づき職員を派遣した。
	9月22日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	10月1日	職員1名復職 原子力規制庁より（総員115名）
	11月8日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。 羽咋消防署空調設備更新工事完了。
	12月25日	令和6年能登半島地震を踏まえ職員を参集させ非常招集訓練を実施した。
令和7年	12月31日	職員1名退職（総員114名）
	1月16日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月2日	七尾鹿島消防本部との通信指令事務共同運用（暫定）を開始する。
	3月31日	職員4名退職、再任用職員1名任期終了（総員109名）
	4月1日	職員1名再任用。職員4名採用（総員113名） 消防署及び分署における警備係を廃止し、庶務係、警防救助係、予防係及び救急係を設置、交替制勤務を3部制から2部制へ変更。 七尾鹿島消防本部との通信指令事務共同運用（正式）を開始する。 能登中部消防通信指令事務協議会に職員7名を派遣。 本部指揮隊を発足し、運用を開始する。
	6月30日	職員1名退職（総員112名）
	9月21日	職員採用第1次試験（教養、体力テスト）を実施した。
	9月30日	職員1名退職（総員111名）
	10月9日	職員採用第2次試験（口述）を実施した。
	10月23日	資機材搬送車（軽四トラック）を配備した。
令和8年	12月25日	富来分署庁舎外構災害復旧工事完了。
	1月31日	職員1名退職（総員110名）
	2月10日	消防職員昇任資格試験を実施した。
	3月9日	富来分署高規格救急車を更新した。
	4月1日	職員1名再任用。職員3名採用（総員113名） 石川県消防防災航空隊に職員1名（隊員）を派遣（令和10年度末まで）

5 歴代消防長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	
初 代	本 吉 二 六	自 昭和47年 4月 1日	至 昭和47年 6月30日
2 代	折 戸 寛 雄	昭和47年 7月 1日	昭和49年 3月31日
3 代	今 江 時 男	昭和49年 4月 1日	昭和55年 3月31日
4 代	山 本 久二夫	昭和55年 4月 1日	昭和56年 3月31日
5 代	揚 見 良 平	昭和56年 4月 1日	昭和60年 3月31日
6 代	宮 本 健 治	昭和60年 4月 1日	昭和62年 3月31日
7 代	山 田 欣 一	昭和62年 4月 1日	平成 元年 3月31日
8 代	山 本 孝 三	平成 元年 4月 1日	平成 3年 3月31日
9 代	福 浦 俊 雄	平成 3年 4月 1日	平成10年 3月31日
10 代	澤 田 一 平	平成10年 4月 1日	平成12年 3月31日
11 代	三 宅 郷 一	平成12年 4月 1日	平成15年 3月31日
12 代	紺 野 繁 男	平成15年 4月 1日	平成18年 3月31日
13 代	岩 城 儀 猛	平成18年 4月 1日	平成19年 3月31日
14 代	高 田 昌 信	平成19年 4月 1日	平成20年 3月31日
15 代	田 頭 善 彦	平成20年 4月 1日	平成25年 3月31日
16 代	山 田 政 一	平成25年 4月 1日	平成26年 3月31日
17 代	安 田 稔	平成26年 4月 1日	平成29年 3月31日
18 代	牧 野 秀 雄	平成29年 4月 1日	令和 2年 3月31日
19 代	松 生 正 友	令和 2年 4月 1日	令和 6年 3月31日
20 代	松 本 裕	令和 6年 4月 1日	現 在 に 至 る

6 組合消防組織図 令和8年4月1日現在



7 組合消防機関の名称、位置、庁舎の現況

消防本部・羽咋消防署



所在地	羽咋市中央町ア185番地
敷地面積	2232.12 m ²
構造	鉄筋コンクリート造3階建 鉄骨造2階建(車庫)
延べ面積	1322.11 m ² 98.51 m ² (車庫)
竣工年月日等	昭和49年8月1日 平成20年3月21日増改築・耐震補強 平成20年3月21日新築(車庫)
職員数	55人(本部:26人、署:29人)
車両台数	13台

宝達志水消防署



所在地	宝達志水町敷浪1区52番地
敷地面積	2001.68 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建
延べ面積	500.54 m ²
竣工年月日等	昭和47年8月1日 平成19年2月28日増改築・耐震補強 (車庫・事務室・仮眠室・倉庫等)
職員数	19人
車両台数	4台

志賀消防署



所在地	志賀町西山台一丁目1番地
敷地面積	7771.36 m ²
構造	鉄筋コンクリート造1階建
延べ面積	713.91 m ²
竣工年月日等	平成22年4月1日
職員数	21人
車両台数	6台

志賀消防署富来分署



所在地	志賀町里本江乙の189番地
敷地面積	1914.54 m ²
構造	鉄筋コンクリート造1階建
延べ面積	473.92 m ²
竣工年月日等	平成9年6月9日
職員数	18人
車両台数	4台

草木基地局



所在地 志賀町草木参1085番地
敷地面積 2567.13 m²
構造 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建
アングルトラス鉄塔
プラットホーム 2 段、高さ29m
延べ面積 176.28 m²
竣工年月日等 平成25年 3 月31日取得
職員数 ー 人
車両台数 ー 台

8 消防機関の配置図

